

やはば

議会だよ

181
2012.7.13

待ちに待った夏!
(矢巾東小学校プール開き)



6月議会で決めたこと 不動地区の水田暗きょ排水事業に着手… 2

一般質問 施策を問う
どうなっている町財政 一般質問8議員 …………… 4

議会からのお知らせ
町政調査会視察研修報告 ……………12

あの質問はどうなった
矢幅駅西口駐車場利用料金 ……………15

不動地区の水田暗きよ排水事業に着手

災害復旧には1億2700万円

6月定例会は6月12日から15日までの会期で開催され、報告2議案、規約の一部変更1議案、条例制定・改正3議案、財産取得1議案、契約1議案、補正予算3議案を審議し、すべて可決しました。

補正予算は一般会計と水道事業会計で計上され、一般会計補正予算は、道路橋りょう災害復旧事業1億2704万円の増、コミュニティ推進事業1440万円の増など、3億4925万円余を追加し、総額99億5112万円となりました。

一般質問は8人が登壇（4ページに掲載）し、岩手医大周辺整備や旧矢巾中学校跡地利用など、25項目について考えをいただきました。

主な内容は次のとおりです。

条例

農業経営規模の拡大や作物の生産を促進するため、農業の体質強化を図ることを目的として、不動地区の水田暗きよ排水事業に着手します。

受益者からは事業費の一部を分担金として徴収するため、農業体質強化基盤整備促進事業分担金徴収条例を制定しました。

印鑑条例と手数料条例を改正

外国人登録法が廃止されることに伴い、印鑑条例の一部と、手数料条例の一部を改正しました。

契約

防災無線のデジタル化で充実強化

デジタル移動系防災無線の整備工事（42台）
1億489万円

財産取得

消防ポンプ自動車を更新

24年経過した第2分団第5部の消防ポンプ自動車を更新
1827万円



順次更新されている消防ポンプ自動車

一般会計 補正予算

主な歳入

▽水田暗きよ排水事業国庫補助金
1億5000万円

▽災害復旧費国庫負担金
7003万円

▽公民館建設助成金
1440万円

主な歳出

▽農業体質強化基盤整備促進事業（水田暗きよ排水）
1億8513万円

▽道路橋りょう災害復旧事業
1億2704万円

▽コミュニティ推進事業（東徳田2区公民館建設）
1440万円

みなさんからの 歩道設置に関する お願い

広宮沢1区行政区域長・自治会長
村松 慎一

全員賛成

採択

審査意見

請願路線は、県道不動盛岡線とウエストヒルズ広宮沢を結ぶ町道宮田線の一部である。この路線は、通勤や運送車両が多く、今後ウエストヒルズ広宮沢の分譲が進むことにより、交通量の増加が見込まれる。

さらに小中学生の通学路でもあり、歩行者や自転車にとって大変危険なため、歩道設置が必要である。

各議案の採決状況

平成24年第1回臨時会（4月）

議案番号	提出議案名	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文字	谷上 哲	廣田光男	秋篠忠夫	若生健勝	昆 秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	採決結果	
議案第31号	平成23年度矢巾町一般会計補正予算（第9号）の専決処分承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	矢巾町税条例の一部改正の専決処分承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	平成24年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成24年第2回定例会（6月）

議案第34号	岩手県後期高齢者医療広域連合規約一部変更の協議の議決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	矢巾町印鑑条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	矢巾町手数料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	財産の取得に関する議決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	デジタル移動系防災行政無線整備工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	平成24年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	平成24年度矢巾町水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	矢巾町農業体質強化基盤整備促進事業分担金徴収条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	平成24年度矢巾町一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

注：藤原議長は採決に加わらない。



よねくら きよし
米倉 清志 議員

岩手医大の周辺整備

周辺道路等順次行う



拡幅予定の医大周辺道路

一般質問 施策を問う

質問 岩手医科大学関連の整備について以下伺う。
①自動車交通量の増加や緊急車両への対応として、道路の拡幅や整備の計画はあるか。
②通学路の安全対策は。
③スマートインターチェンジ設置の進捗状況はどうか。

答弁
①教育施設に活用するのが望ましいと判断して進めてきた。
②農業関係以外での開発は難



やがみ さとし
谷上 哲 議員

どうなっている町財政

依然として厳しい財政運営



開発が進む駅西地区(帰厚堂の医療福祉多機能ビル)

一般質問 施策を問う

質問 新地方公会計制度について伺う。
①財務諸表は町民にどのような手法で公表されるのか。
②作成した財務諸表から得られる情報の主な要点は何か。
③本町の実質公債費比率は、どのような位置付けか。

④将来負担比率は、どのような位置付けになっているのか。
⑤人件費比率の指標について、算式や基準値があるのか。
⑥本町の財政状況は中長期的な観点から、将来にわたって安定的な運営がなされるのか。
⑦財務諸表を近隣町村と比較して特徴的な点があるか。

が進めば将来負担比率は下降する。
⑤全国の類似団体の人件費割合は、平均18・6%に対し、紫波町15・9%、滝沢村15・1%、本町は13・1%となっている。
⑥依然として厳しい財政運営が続くと予想され、最小の経費で最大の効果を上げるよう事業を執行する。
⑦行政目的別割合比較の教育項目において、雫石町23・7%、滝沢村27・3%、本町31・8%で、教育施設整備を優先してきた結果、矢巾中学校が未完成の段階にあっても高い数値である。

答弁
①広報やはば4月号及び矢巾町公式ホームページ上で公表している。
②新地方公会計制度では、複式簿記の考え方により、資産の動きや行政サービスに必要なコストを把握することができる。
③平成22年度決算は、岩手県平均14・3%に対し本町16・3%で県内では高い方から8番目であるが、地方財政法の規定である18%未満にす
④岩手県平均99・4%に対し本町156・3%で県内では高い方から5番目であるが、矢幅駅周辺土地区画整理事業によるもので、今後事業

※新地方公会計制度とは
地方公共団体において、国と同様に資産及び負債の実態を把握して財務書類を作成し、そこから得られるさまざまな情報を持続的な行政運営のために生かしていく制度。
行政コスト対公共資産比率では、雫石町22・9%、滝沢村24・5%、本町17・9%で、行政コストの割合が低い。

答弁
①附属病院の立地に伴う周辺道路の整備計画を立案する必要があると受け止めている。
②附属病院立地予定地の周辺通学路は、おおむね歩道が整備されているが、一部区間は未整備であり6次総後期基本計画で順次整備する。
③関係機関と協議中である。

しい。葉草の試験栽培や6次産業化などの可能性を模索中である。
上堰の整備計画は
憩える場所として整備
質問
①矢幅駅前地区の貴重な水資源である上堰を、観光資源と捉えて整備しては。
②集客できるイベントの開催を考へては。

質問
①旧矢巾中学校跡地の今後の活用をどのように考え、進めていくのか。
②不動産の町有地の活用、活性化対策は。



おがわ ふみこ 議員
小川 文子

矢巾中跡地は憩える公園に

公園としては考えていない



旧矢巾中グラウンドでのシルバースポーツ大会

質問 矢巾中学校の跡地利用について以下伺う。

- ①跡地利用について、町民の声を聞く機会を持つべきでは。
- ②龍澤学館が6月にも旧校舎の耐震設計に入ると聞いているが、時期尚早では。
- ③住民の手による憩える公園

不検出で安全

放射能検査で安全な給食を

質問 放射能被害の広がりを懸念しているが以下伺う。

- ①給食の検査と結果について。
- ②町内農産物や町民が依頼した野菜等の検査状況は。
- ③産直への検査支援は。

回答 網戸は三堤住宅1号棟から、可能な構造に限り順次取り付ける。
フロア設置については今まで通り入居者でお願いしたい。

質問 網戸設置の予算上積みと、フロアが設置されていない住宅は町で設置できないか。

今年度から順次対応

町営住宅に網戸

- 回答**
- ①毎日給食一食分について測定しているが、今までは検出されていない。
 - ②4月から野菜・山菜・水・焼却灰等の検査を行っており、焼却灰以外は基準値以下、又は不検出となっている。
 - ③放射能測定器の活用による安全性確認を呼びかけている。

の設置や管理の方法があるのでは。

回答

- ①地域懇談会や各関係委員会等で説明し理解をいただいていると捉えており、町民の声を聞く機会を持つ考えはない。
- ②龍澤学館が耐震の費用を含めた資金計画の立案のため必要であると捉えている。
- ③学校の授業に支障をきたさない時間帯は、町の管理で町民に開放することから、公園としての整備は考えていない。

危険通学路の整備を

今後とも順次実施



平成27年度歩道整備予定の藤沢9号線



こん しゅういち 議員
昆 秀一

一般質問 施策を問う

質問 登下校中の子どもが巻き込まれる交通事故が目立っているが、特に危険と思われる通学路の早急な整備を。

回答 現在矢巾中学校関連の歩道整備・交通安全施設整備を行っており、他にも特に危

険と思われる通学路については、学校からの要望を踏まえカラー舗装や区画線の補修工事を行っている。

心のバリアフリー教育は

思いやりの心を育成

育成

質問 小学校の特別支援学級の児童がからかわれたり、いじめられたりということが起きているようだが、子供のうち徹底した心のバリアフリー教育が必要である。大人たちも含め今後教育を進める考えはないか。

回答 各学校において道徳教育や心の教育等に取り組んでいるが、特別支援教育については支援学級の児童生徒との交流を通して思いやりの心を育成するよう取り組んでいる。保護者に対しても機会を捉えて啓発を行っていく。

子どもの医療費無料化を

財政負担を考慮し検討

質問 未来ある子どもの命を守り、子育て支援の面からも義務教育中の子どもの医療費を無料化すべきでは。

回答 対象者は、県の基準どおり就学前までの乳幼児で、所得制限は町単独で撤廃している。

自己負担については、限度額を県の基準よりも半額に下げの処置を講じている。
本町の子育て支援は医療費への助成が全てではなく、保育・教育環境の総合的な支援を進める必要があり、現在のところ助成の対象年齢の引き上げや無料化は考えていない。

その他の質問

- ◇空きスペースの有効活用について
- ◇バリアフリーの町づくりについて

その他の質問

- ◇町道の改修について



さいとう まさのり
齊藤 正範 議員

自主防災組織に何を期待

自助・共助の精神で行動



防災訓練に取り組む土橋行政区のみなさん

質問 自主防災組織の活動支援について以下伺う。
①組織されている数と結成に向けての指導はどのように行っているのか。
②活動についてどのような関わりと行動を期待しているか。
③自治会や消防団などの連

質問 徳丹城跡地の整備方針は建物復元も検討
今年の徳丹城春まつり

質問 今年の徳丹城春まつり

回答 今年5月現在で20組織であり、今後も出前講座等にて結成に向けての啓発をしていく。
②自分の地域は自分で守るといった精神のもと、日頃の訓練を行いながら有事の際にその効果が発揮されるように期待している。
③自助・共助を行うことが自主防災であり、公的救助の前に行うことができることを自主防災組織でやるのが重要と認識している。
④今後地域防災組織育成事業による助成を考えている。

回答 ①約1万人の来場者と推計。予想よりはるかに多かった。
②まずは町民が盛り上がるのが大事である。
③具体的計画は財政状況を勘案しながら、建物の復元等整備方法を検討する。
④志波城まつり等でも広範なPR活動を展開しており、今後も鋭意取り組んでいく。
⑤すべての建築物について将来的な移転対象としているが、積極的な働きかけはしない。

DVの防止対策を

調整会議を立ち上げ対応



かわむら よし子 議員



ひとりぼっちじゃありません

質問 4月に町内で発生した配偶者からの暴力事件について、経過と町としての取り組み状況を伺う。
シエルターなどでの一時保護もあるが、町民への周知が必要では。

回答 母親の健康や夫の状況等各機関と連携し、DV防止に取り組んできた。
今回の事件を重く受け止め、庁舎内に「配偶者からの暴力

餓死・孤立死の未然防止

地域住民の支え合いが不可欠

質問 餓死や孤立死が発生しているが、未然に防ぐことが大切と思われる。町内の支援体制はどうか。

回答 福祉、町営住宅並びに水道事業を管理している関係課及び社会福祉協議会や地域包括支援センターとの連携のもと、日頃の業務の中で健

康相談や家庭訪問等しているが、地域住民同士の支え合いが必要不可欠である。

狭い煙山児童館 6次総後期基本計画で検討

質問 利用児童数が多い煙山児童館の分割をすべきでは。徳田児童館とやはば東こどもに家に運動広場を整備できないか。

回答 6次総後期基本計画に煙山児童館の分離事業が計画されているが、利用児童数の推移を見極めながら対応していきたい。
徳田児童館には園庭があり徳丹城跡公園も利用している。また、やはば東こどもの家は下北グラウンドを利用していることから、両施設とも新たな広場を整備する計画はない。



かわむら あきお
川村 農夫 議員

胸襟を開いた議会対応を

継続性を重視し進める



熱心な議論が交わされた6月定例議会

質問 ①3月議会において、旧矢巾中学校跡地利用問題に関する議会からの質問に対し、本会議の一般質問で先に回答し「龍澤学館」への無償譲渡が決まったかのようにマスコミ報道が先行したことへの町長

答弁 ①議会本会議が優先するものと考え本会議での質問に答弁したものであり、それを傍聴していた報道機関が独自取材により記事にしたものである。②改めて教育施設として活用することが最善の選択であると判断し、学校法人の誘致に向け進めてきた。③議員で構成される特別委員会の意向は、賛同する意見が多かったものと捉えており、継続性を重視して進めている。

その他の質問
◇徳丹城跡地について
◇守るべき矢巾の姿について

地元中小企業の育成に力を

諸施策を実施し支援



やまざき みちお
山崎 道夫 議員



地域で頑張る企業(いわて食品株式会社)

質問 地元中小企業を育成するという観点から伺う。
①現在までの支援状況は。
②事業所数と従業員数は。
③仮称「中小企業振興条例」を制定し、中小企業を積極的に支援すべきでは。

答弁 ①中小企業振興資金融資制度により融資を受けた事業者に対し、利子補給のほか小規模企業信用保証料補給や、中小企業退職金共済掛金補助金の交付を実施している。②平成21年は、1324事業所、従業員数は1万5052人となっている。③新たな条例を制定する考えはない。

も含め、現在の4倍の約1万3000戸を目標とする。
今後、一般住宅への導入支援と併せ、4箇年で公共施設等に発電能力約164戸の太陽光発電システムを計画している。

質問 本町の再生可能エネルギーについて伺う。
今後、何を利用した再生可能エネルギーを、どのような目標値を設定し導入を進めるのか。
答弁 平成32年度までに太陽光発電能力について事業所等

矢巾農業塾の立ち上げを
農業の再生に向け支援
質問 「矢巾農業塾」を立ち上げ、さまざまな観点から調査研究し、産業として農業を確立する体制づくりを進めていく考えはないか。
答弁 現在農業関係者から成る目的別のさまざまな組織が活動を展開しており、行政は情報の提供や研修会等を行っている。意欲を喚起する手法は必要であるが、新たな組織は想定していない。

医大と農業
振興について
ニーズに即した
農業生産

質問 医大関連で1万人の交流人口が消費する食材について、医療基地を食で支える矢巾を目指すことへの町長の考えと、関係団体の動向は。

答弁 過去に商工会及び農協が事業機会の確保について要望した経緯があり、本町の産業振興につながる大きな機会であると捉えている。
地産地消を含めた医大への地元農産物の供給や、矢幅駅から医大までの商業ゾーンでの地元農産物の消費など、ニーズに即した農業生産が行われるよう働きかけていく。

町政調査会

大槌町の被災状況と



ボランティアでにぎわう復興食堂

視察研修報告

復興に向けての取り組み



多くの犠牲者が出た大槌町役場

研修目的

昨年3月11日、東日本を中心にM9.0の巨大地震が発生し、多くの被災を受けた大槌町の現状を視察することにより、防災に対する取り組みと体制のあり方や復興に対する意識の向上につなげることを目的に実施した。

矢巾町政調査会は町内における課題の調査研究、また、政策提言及び会員間の親睦を目的に活動する組織で全議員が所属する。組織の概要は総会と各常任委員会単位となる部会に分けられ、活動経費はすべて会費によって運営されている。

調査報告

- ① 人的被災は死亡者782人、行方不明者475人にのぼり、平成24年4月30日現在の町民人口は1万3173人で被災事情による他市町村への転出と合わせた減少は2821人となっている。
 - ② 物的被災状況は家屋全壊3092棟、家屋半壊等786棟、浸水面積は431畝のうち宅地の浸水率は52%と想像を絶する被災状況である。国土交通省の「被災現況調査結果」によれば、次のような行政課題が明らかになった。
 - ③ 住民の津波に対する防災意識が低かった。
 - ④ 適切な津波避難行動ができなかった。
 - ⑤ 高齢者などの災害時要援護者に人的被害が集中した。
 - ⑥ 避難場所・避難経路が適切に機能しなかった。
 - ⑦ 住民の自主防災体制の構築に課題があった。
 - ⑧ 行政の危機管理体制上の課題が明らかになった。
- このような指摘を踏まえ復興まちづくりの基本的考え方を津波防災・土地利用・交通体系に分け、基本施策を安全安心の確保、暮らしの再建、地域経済の再興、教育環境の整備の4つの柱に据え、不撤退の決意で復興に取り組んでいくとのことである。
- 私も矢巾町民としてどう後方支援していくことが出来るか、今後の行動が大いに試されているのではないかと痛感した視察であった。



津波の爪痕が残る大槌町

常任委員会調査報告

教育民生常任委員会 6月20日

小学校の英語教育の実態

「小学校の外国語活動」においての英語必修化の実態について調査するため、不動小学校で行われた「矢中町小学校外国語活動授業研修会」で公開された6学年の授業を見学した。

まず、担任教師と外国人ALT（外国語指導助手）が組になって効率的に授業が進んでいるという印象を受けた。

電子黒板を有効に使い授業を進めており、特に児童たちに積極的に発言させるなどの工夫もあり、試験勉強のためではない授業の進め方には好感を持った。

何よりも児童が楽しく興味を持てる授業であったように思われた。

今後も引き続き楽しい授業をしてほしいと感じた。



熱心に英語を学ぶ子どもたち(不動小学校)

議会からのお知らせ



放射性物質の測定状況(共同調理場)

学校給食の放射性物質検査

矢中町共同調理場における学校給食の放射性物質濃度測定の状況を調査した。

当町では本年4月6日から、学校給食の安全提供と父母の不安を解消するため、毎日給食一食分を測定し、町ホームページに公表している。

ヨウ素131、セシウム134・137とも、不検出(検出下限値10ベクレル/kg)となっており、安全性が確認できた。

なお、保育園も同様の検査であることが分かったが、今後も継続した検査を望む。

産業建設常任委員会 5月28日

導入可能な再生エネルギーの調査

現在各地で取組んでいる再生可能エネルギーの活用実態調査研究のため、一関市にある照井発電所、赤萩発電所、奥州市の工藤建設を視察した。

照井発電所は磐井川からの取水源である南照井堰の落差を利用した小水力発電で平均的な家庭の82戸分程度の需要をまかなう事ができる。

小水力発電は豊富な水と急流落差を必要とするため、設置条件の整う箇所は限定され、ゴミの除去と冬場の水量確保が課題である。

工藤建設株式会社は土木建設工事会社であるが自然エネルギー関連事業に積極的に取り組んでいる。

社屋に20kwの太陽光発電を導入、冷房用には雪氷庫を備え、除雪作業で得た雪を倉庫に保管し、夏場の冷房に使用



小水力発電の照井発電所

している。

地中熱利用冷暖房空調システムを開発し、すでに学校などに導入実績を持っている。

地中2メートルに埋設したパイプで空気を送る簡単なシステムで、ランニングコストが非常に安いことから、今後急速な普及が期待される。

追跡

あの質問はどうなった?

過去に質問したことが現在どうなっているのか調査しました。

平成23年4月から改定

利用時間	改定前	改定後
1時間まで	無料	無料
1～2時間	200円	無料
2～3時間	300円	100円
3～6時間	400円	200円
6～12時間	500円	300円
12～24時間	600円	400円
24時間～(12時間ごと)	300円加算	200円加算
月極め	5000円	3500円

現在は

町営「矢幅駅西口駐車場」利用料金について
(平成22年12月定例会)

問 駐車料金について、もっと利用しやすい料金に設定し直すべきではないか。

答 平成23年1月31日まで社会実験として暫定料金で実施している。



さんさ踊りの練習にも熱心に励む筆者



不來方高校で英語教師をしている

Alice Handscome さん (矢巾1区)
(アリス・ハンズコム)

緑と山のある矢巾町は

ス・テ・キ

はじめまして。

私の名前はアリス・ハンズコム、24歳です。不來方高校で英語教師をしています。イギリスのロンドンから矢巾町

に来ておよそ2年になります。大学では音楽を専攻して

いたので、歌う事が大好きです。矢巾町に来てからは、矢巾

コールというコーラスグループに入り歌っています。日本語でも英語でも歌うのでとても楽しいです。

他にも趣味がたくさんあります。夏は山登りが好きで、南昌山にも登りました。矢巾

町は緑が多く、山があるのがすばらしいです。ロンドンにはありません。冬になればスノーボードをします。安比高原はすばらしいゲレンデです。

今は盛岡さんさ踊りに太鼓で参加するために練習してい

はじめまして。おもしろそうで、とても楽しみですが、太鼓は本当に難しいです。もし私を見かけたら声をかけて下さい。

昨年の夏には、父母が観光を兼ねてロンドンから来日し、矢巾町にも寄りました。矢巾

コールのみなさんに歓迎会を開いていただき、大いに交流することができました。父母は原子力発電所の事故に対して冷静で、私が矢巾町の方々と楽しくやっている姿を見て安心したようです。

今、日本語検定4級に挑戦しています。日本語をマスターして、日本とイギリスの友好の架け橋になりたいと思っています。

今、日本語検定4級に挑戦しています。日本語をマスターして、日本とイギリスの友好の架け橋になりたいと思っています。

あ と が き

東日本大震災から、早くも1年4ヶ月経ちましたが、被災地に足を運んでみると復旧・復興にはまだまだ程遠い状況であり、我々議員としてもより一層の支援をしていく覚悟しております。

議員活動も2年目に入り、安全・安心な町づくり、一層の力を注いで行かなければと決意いたしております。

議会だよりも、町民の皆様

の安全・安心の手足となっていければと思っております。皆さんのご意見をお待ちしておりますので、よろしくお願いたします。

編集委員

藤原 梅昭

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

委員 藤原 梅昭